



デビスカップ東洋ゾーン2回戦開催
富山県総合体育センター



1987/6 NO.221



	エッセイ 高林和子	
シルクロードと山	表紙 2	
特集 県民ヘルスプラン策定		P 4
PIN UP TOYAMA		
城山から朝日町を望む		P 12
TRIP 県政		
富山県衛生研究所		P 18
ふるさとみである記		
高岡市		P 20
シリーズ：とやまギネススポット		
急流河川		表紙 3

シルクロードとエッセイ

「旅」というラジオ番組に出演していて、アナウンサー氏に「シルクロードと富山に共通するものがありますか」と問われたことがあった。咄嗟に私の口をついて出たのは「山があり、山の恩恵を受けて人々が生活しているところが似てますね」という言葉であった。

私の旅したシルクロードの国々は、ユーラシア大陸の内陸深く乾燥極まる砂漠地帯であり、海に囲まれた緑したたる島国日本の、なかならず海に沿った富山とは気候風土を全く異にする。しかしどの国にも銀嶺輝く美しい山があり、人々は山の恩恵をいっぱいを受けて生活しているのである。

先ずシルクロード自体が、天山山脈の万年氷河から流れ下る水によって養われたオアシスを点綴して拓かれている。天山の万年氷河は、北麓で羊を追う遊牧民族には牧草の繁る草原を、南麓の農耕民族には五穀の実る豊かなオアシスをもたらした。水が無ければ生きてゆけない乾燥地帯に住む民族にとって、天山から受ける恩恵は歴然と目に見える。彼らは天山を神と仰ぎ、天山の恵みを受けつつ天山と共に生活しているのである。



高林和子(故人)

生まれた時から生活圏に立山連峰を置き、立山の姿を眺めながら育ったものが山に無関心でいられる筈がない。私は経巡ったシルクロードで出遭った山々を心ゆくまで眺めた。

小チベットでは西にカラコルム、南にインドヒマラヤの峰々を望み、パキスタンの北辺では目前に波打つカラコルムの山々を見た。アフガニスタンの真ん中を東西に横断するヒンズークシ山脈は、北麓を草原地帯に、南麓を砂漠地帯にきっぱりと分断し、サラン峠で南北を結ぶが、どこからでもヒンズークシの銀嶺が眺められた。ソ連領中央アジアのフルンゼで見た波濤のように押し寄せる天山山脈、中国のウルムチでは遙か草原の涯に連なる天山に高峰ボコダを仰ぐ。河西回廊に沿って連なる祁連山脈、カシュガルではパミールの峰々を、踏み込んだパミール高原ではコングールやムスターグアタを目前に見てその迫力に圧倒された。またイランのエルブルス山脈の山々と白銀に覆われて裾を曳く独立峰デマベンド山の季麗な姿やシラズで見たザグロス山脈の峰々、そしてイランからトルコへと第一歩を印した目前に大・小相似の姿を並べたアララット山は富士山に似た美しい山だ。

登山家でも冒険家でもない1人の旅人である私は、富山平野から立山連峰を眺めるようにこれらの山々を眺め、少しばかり歴史を考えたに過ぎないが、異国の風土で仰ぐ山の姿は故郷のように懐かしく心に沁み、私の精神を鼓舞せずにはいなかった。そして乾燥地帯に高峰を配する大自然の営為に胸衝かれる思いを重ねて来たのであった。

写真はアララット山(トルコ)

二十四日オープンしました。 砺波市高道で建設を進めていた富山県花総合センター(通称…エレガガーデン)が四月

花総合センター、完成。

エレガガーデンは広さ二・七ヘクタール。「日本一の花と緑の果づくり」を目指す中核となる施設で、花の栽培技術の紹介や、草花、球根の見本展示、花まつりの開催など、花に関する情報の発信基地となるものです。

本館には、栽培農家に技術指導をする営農相談室や情報資料室、バイオテクノロジー技術を駆使した実験室、チューリップの歴史や生態を紹介する展示ホールなどを備えています。

その他、センター内には直径五十メートルのモテル花壇、立山をイメージした大温室などがあり、四季折々の花や木を楽しむことのできる憩いの場にもなっています。

富山県花総合センター

砺波市高道四六一三
(☎0763・3211187)

- 開園時間 / 午前九時～午後四時三十分
- 休園日 / 毎週火曜日
- 入園料 / 無料



花の便り

テクノポリスの建設や地方の活性化について話し合う第三回全国テクノポリスシンポジウムが、五月九日、県民会館で開催され、全国から集まった関係者約千四百人が意見を交換しあいました。

全国テクノポリスシンポジウム富山大会開催



個性ゆたかに地方を創る

テクノポリスとは、産業Ⅱ(電子機械等の先端技術産業)・学術Ⅱ(産業を支える大学、民間中央研究所等)・住空間Ⅱ(ゆとりある「まち」)が一体となった新しい地域開発構想で、富山県は昭和五十九年他の八地域とともに全国に先駆けて対象地域に指定されています。

シンポジウムでは、まず三菱総合研究所会長の牧野昇氏が基調講演し、「地域活性化のためには工場の誘致よりも、産業のハイテク化とソフトウエア開発に力を入れるべきだ」と提言しました。

その後、評論家の竹村健一氏をコーディネーターにしたパネルディスカッションに移り、「人口・産業の地方分散のためには、交通・通信体系の整備、さらには、地方自身が情報発信機能を持つことが大切」、「地方も世界的視野を持ち個性を発揮せねば」、「地方の時代には人づくりが先決である」などの意見が交換されました。

第一回 富山県・遼寧省友好交流促進会議記念祝賀会



二十一世紀へ向けて、富山県と中国遼寧省との友好交流の進め方を討議する第一回富山県・遼寧省友好交流促進会議が五月十四・十五日の両日、県民会館をメイン会場にして開催されました。

第二回富山県・遼寧省友好交流促進会議



友好新時代へ



これは、一昨年「日中友好富山県民の翼」が遼寧省を訪れた際、中沖知事が設置を提唱、遼寧省側の合意を得て今回の開催となったもので、富山県からは、藤田副知事を代表とする七人の委員と民間団体代表十二人、方遼寧省からは、左現副省長を代表とする七人の委員が会議に参加しました。

会議は藤田副知事、左現副省長の基調報告のあと、意見交換会に移り商工・農林水産・科学技術・文化・婦人青少年・日中友好関係の六つの分野で、今後の友好交流のあり方について意見を出し合いました。

二日間の会議では、経済交流促進のため、富山県国際経済交流促進会議と遼寧省工業技術開発センターがそれぞれの窓口となって情報を交換しあうこと、県内の民間企業を対象に投資セミナーを開くことなどについて意見が一致したほか、種もみ、大豆などの優良品種の相互交換、両県省の自然、文化、産業などを紹介する常設展示コーナーの設置などについて話し合いました。

なお、第二回会議は、遼寧省で行われる予定です。

特集

県民ヘルスプラン（策定）

すべての県民が、生涯を通じて健やかで、
 やすらぎのある生活を送ることは、県づくり
 人づくりの基礎的な条件です。

昭和五十八年につくられた富山県民総合計画は、
 『活力と温かい心に満ちた美しいふるさと』の創造を目指しています。

そして「日本一の健康県」への挑戦は、
 この願いをかなえるための根幹をなすものといえます。

今回策定した「県民ヘルスプラン」は、
 県民の健康づくりの指針として、
 また、健康づくり行政の推進に関する基本計画として
 位置づけられるものです。



県民ヘルスプランのイメージ

I 挑戦

●「日本一の健康県」

健康観

- より健康な状態に向かう活動—
- ① 躍動する生命感あふれる健康
 - ② 無病息災の健康
 - ③ 病気と共生する健康
 - ④ 生涯の完結にふさわしい健康

II 目標

- ・健康習慣づくり日本一
- ・健康なまちづくり日本一

III 施策の推進

- 一、学習による健康習慣づくり
- 二、健康診査等の充実
- 三、健康づくり関係者の確保
- 四、保健施設の整備
- 五、健康なまちづくり

IV 運動の展開

- 一、家族みんなで健康づくり
- 二、いきいき活動で健康なまちづくり
- 三、四季折々の健康づくり

プランの構成

県民ヘルスプランは、大きく区分して①健康観をふまえた健康づくりの考え方②「日本一の健康県」実現のための具体的目標③本県の特徴をふまえた県民ヘルスプランの推進方針④「健康づくり県民総ぐるみ運動」の展開の四つの柱で構成されています。

健康づくりの考え方

近年、人口構成の高齢化や家族形態の変化など、健康をとりまく社会環境や疾病構造が、大きく変化しています。このような変化に伴い、健康のとらえ方や健康づくりのあり方も変わっています。また、これからの長寿社会にふさわしい新たな健康観や、それぞれの世代、健康状態に応じたきめ細かな健康づくりが必要となっています。

(一)健康のとらえ方

かつては「無病息災」だけを健康ととらえる傾向にありましたが、今日では、慢性疾患をもつていても、治療や機能回復を図りながら、前向きな姿勢でいきいきと価値ある社会生活を送ることににより、死の直前まで人間の尊厳を保って生きること

が可能となっています。

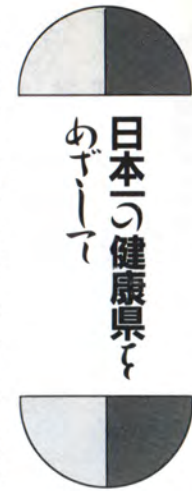
このため、これからの長寿社会に向けての健康観としては、「躍動する生命感あふれる健康」、「無病息災の健康」、「病気と共生する健康」や「生涯の完結にふさわしい健康」など、より健康な状態に向かう活動を健康と考え、生きがいをもって充実した生活を送るという観点から広く健康をとらえていくことが重要です。

(二)健康づくりのあり方

健康づくりには、県民の一人ひとりが「自分の健康は自分でまもり、つくる」という自覚と意欲をもち、健康の保持増進、病気の予防、治療、機能回復のために努力し、さらには地域住民の一人として



全体の健康づくりのために努力することが大切です。
このことから、個人・家庭においては、「健康習慣」の定着を図るとともに、地域においては、個人・家庭での健康習慣の定着をさらに「まち」全体の活動にまで高めることが肝要です。



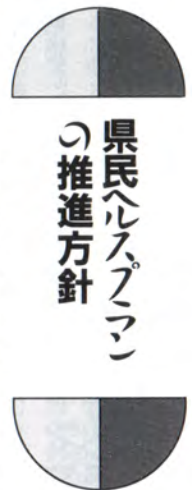
県民の皆さんの合意と参加のもとに、本県の健康づくりの目標である「日本一の健康県」の実現をめざして、人生八十年時代にふさわしい考え方をふまえた目標を掲げ、県民ヘルスプランを着実に推進します。
具体的な目標として、「健康習慣づくり日本一」、「健康なまちづくり日本一」を掲げています。

★健康習慣づくり日本一

県民の一人ひとりが
自分の健康づくりに

に心がけ、より健康になるよう努力するとともに、健康で明るい生活を築くための健康習慣の定着を図ります。

★健康なまちづくり日本一
県民の一人ひとりがまちでの健康づくりに積極的に参加するとともに、まちの組織・団体が中心となって個人・家庭の健康習慣定着を支援したり、生活環境の向上を図ることなどにより健康なまちを築きます。



健康にかかわる本県の特性として
は、①出生の減少②成人病の増加③高齢化社会の進展

まち

「まちでの健康習慣」を推進する

- ・個人、家庭での健康習慣の定着をまち全体の活動にまで高める
- ・まち自体で住民の健康増進を図る
- ・まちでの生活環境の改善を進めながら、住民の健康づくりを行う

家庭

「健康習慣」の定着を図る

- ・主婦等が中心となって家族に健康習慣の実践を促す
- ・家族がお互いに健康習慣の実践状況を確認しあう

個人

健康状態に応じた健康づくりを行う

- ・「自分の健康は自分でまもり、つくる」という自覚と意欲をもち、健康の保持増進、病気の予防、治療、機能回復のために努力する
- ・地域住民の一員として地域全体の健康づくりのために努力する

《健康づくりのあり方》

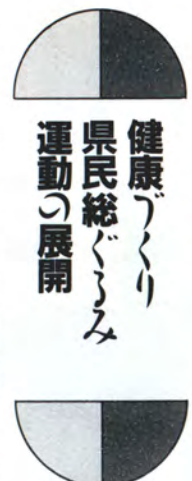
行政・関係機関



③健康づくり関係者の確保

④保健施設の整備
の施策を図ることにより、県民ヘルスプランを積極的に推進します。

⑤健康なまちづくり
なお、このプランは、県民の皆さんの自発的な創意工夫を最大限に生かしつつ、社会情勢の変化に応じて適切に対応できるよう、「富山県民健康づくり推進協議会」等に諮りながら弾力的な運用に努めていきます。



県民ヘルスプランによる県民の健康づくりを推進するため、本県の特性を積極的に生かし、家庭や地域等で実践するという観点から、健康教育の推進、健康診査の充実・強化、健康づくり関係者の養成・確保、保健施設の整備充実等の施策を関係者の皆さんの連携のもとに総合的に

実施することにより、「健康づくり県民総ぐるみ運動」を展開します。
なお、運動の具体的な展開方法としては、次のものが挙げられます。

★家族みんなで健康づくり

健康の保持増進には、日々の生活習慣の影響が大きいことから、健康づくりに対する一人ひとりの努力とともに、家族がお互いに生活習慣の点検を行い、実践を促すなど家庭での健康習慣の定着を図ります。

★生き生き活動で健康なまちづくり

健康で住みよいまちをつくりあげていくため地域、学校、職場などまちの健康課題への取り組みや健康づくりを住民自らの活動として展開します。

★四季折々の健康づくり

四季の特性からくる健康上の課題に適切に対処するため、衣食住や各種の健康週間等をとらえた健康学習や、四季を通じて楽しみながら行う健康づくり活動を展開します。

県民ヘルスプランが県民の皆さんの間に行きわたる、自主的で活発な活動が広範囲に展開されることを期待します。



※具体的な実践活動の成果や、今後実施するに当たっての御意見がありましたら、県庁厚生部公衆衛生課までお寄せ下さい。



健康づくり●私もがんばっています!!



84才のさわやかランナー

油本十郎さん(魚津市)

油本さんの朝は、五時のジョギングではじまります。ここ十年来、雨や雪の日以外は、毎日約八キロの距離を走り続け、今では北陸各地の



ロードレース大会の常連。そして昨年ホノルルマラソン(参加者約一万人)最高齢出場、四十二・一九五キロを見事に走り切りました。きっかけは、ボランティアでやっているまちの花壇の手入れ。無理な姿勢での作業が多いため腰を悪くした油本さん。正しい姿勢で走る習慣をつければ治るのでは、とはじめたのがこのジョギングです。

以来、腰痛に悩まされることもなく大きな病気もありません。

「大事なことは毎日やること。ずぼらはいけませんよ。」という油本さんの毎日続けるコツは、人に負けまいと思わないこと。つらくなるとゆつくり走ることを心掛け、これまで途中棄権したレースは一度もありません。

「何でもよいから、からだを動かすこと。そして食事に気を配ること。そうすれば、自然に健康は身につきますよ。」と笑う油本さんの顔は元気そのもの。

八十四才、さわやかランナーの快走は今日も続きます。

ひとりより大勢で、楽しみながら汗を流す

グループC-60(富山市)

毎週水曜日、富山市体育館でフレッシュテニスを楽しむのは、C(カウンセリング)ー60のメンバーの皆さんです。

皆さんは、富山市健康センター主催の「女性のための健康づくり教室」の昭和六十年卒業生。料理・健康チェック・体操など約三ヶ月かけて十回コースを修了したのですが、「このままやめてしまうのではもったいない。」という声からとなく起こり、サークル結成となった次第です。

「一人では続けられない事でも、大勢でやると長続きするものです。」と代表の島田さんが言うように、三十代から六十代まで、約三十人の

女性の方々、途中の脱落者は一人もいません。フレッシュテニスは、スポンジ状のボールを柄の短いラケットで打ち合うものですが、難しいルールは一切なく誰でも手軽に楽しめるスポーツです。

最初のうちは空振りが目立ったメンバーたちも今ではかなりのラリーが続けられるようになり、右に左に球を追うプレーぶりはなかなかのもの。

「健康づくりに自信過剰は禁物。目的はあくまで楽しみながら汗を流すことです。」と言うとおり、終始歓声の絶えない楽しいサークルです。



高岡市ヘルスボランティア同好会

私たち、健康づくりを手伝います

高岡市保健センターで行われているリハビリテーションは、冗談が飛び交い、とてもにぎやか。脳卒中後遺症患者の方々が、一生懸命針を動かす。はさみを持って、ズック袋を縫っています。そんな中に、黄色いエプロンを付けたヘルスボランティアの方が四人。針糸を通して、布を押さえたり、ゲームや体操も一緒にします。「明るく、楽しくやっていたら、とても助かっています。」と保健婦さん。



「思わず手を出したくなるのですが、じっと我慢です。」と宗玄弘子さん。高岡市ヘルスボランティア同好会のリーダーです。「身内に病人が出て、弱い人に力を貸したい、健康づくりに役立つ立ちたいと思い、ヘルスボランティア養成講座を受けることにしました。」

講習は、一年間。保健所で老人看護の仕方、健康体操などを学びます。高岡市にはこの講習を終えたヘルスボランティアの方が五十名いて、健康づくりの実践指導者として活躍しています。

「発足して五年、まだまだヨチヨチ歩きですが、やる気は十分です。欲張らずに、出来ることから少しずつやって、実績を積み上げていきたいです。」と宗玄さん。今年、看護実習などの自主研修もどんどん取り入れるとか。高岡市ヘルスボランティア同好会の皆さんは、とても意欲的です。

6月は「土砂災害防止月間」です

万に備えての心構えを

わが国は山地が多く、地質がもろくて弱いため、梅雨時や台風シーズンになると毎年のように、土石流・地すべり・がけ崩れなどの土砂災害が発生します。

特に富山県は、標高百メートル以上の山地丘陵地面積が県土全体の七十パーセント以上を占めており、多くの人々が土砂災害を受けやすい危険な箇所に住んでいます。

恐ろしい土砂災害からかけがえない命を守るため、大雨時に備えましょう。



わが家の危険度を確認

土砂災害から身を守るためには、まず自分のまわりに危険なところがあるかどうか、調べることから始めましょう。近くに急な溪流はないか。三十度以上のがけはないか、山の形や木の伸び具合におかしな点はないか、調べてみましょう。



避難場所を決めておく

危険が確認できれば、次に避難場所・避難経路を決めておきましょう。災害が起きた時に家族全員が家にそろっているとは限りません。ふだんから避難場所を話しあっておけば安心です。

大雨の時は要注意

ふだんから気象情報には注意して、特に大雨や長雨で危険だと感じた時には、直ちに避難しましょう。

例えば土石流なら、場所によって違いますが雨量が一時間に二十ミリメートル以上となった場合、または降り始めてからの累計雨量が百ミリメートルを超えたら要注意です。

また、長雨のあと短時間に多量の雨が降った時も危険です。

緊急避難の際には

土石流は流下速度が速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土石流が発生した場合は、流れと直角に逃げることを忘れずに。とっさの判断をあやまらないために、ふだんから避難訓練を定期的に行いましょう。



農業制度資金のご案内

—— 活力ある農業のために ——

農業は、私たちの食生活の源であり、活力に満ちた果づくりを進めていくための基礎的な産業でもあります。

しかし、米の生産調整、輸入自由化圧力の高まりなど今日の農業をめぐる環境は厳しく、効率化・高度化による合理的な農業経営が不可欠となってきています。

県では、多様な農業制度資金を用意し農業経営のお手伝いをしています。

※中核農家や農業後継者には、金利の面でさらに優遇措置を講じています。
●詳しくは、最寄りの農協、市町村、農業改良普及所、または、県庁農業経済課へお問い合わせください。

農業近代化資金

農業施設・機械等の取得や果樹の植栽技術等に必要資金融資です。

●償還期間／五～二十年

●貸付限度額／個人 千二百万円

●貸付利率(年利)／
三・〇～四・六パーセント

農業改良資金

今後一層普及を図る必要のある能率的な生産方式への融資です。

●償還期間／三～十年

●貸付限度額／
経営規模により異なります。

●貸付利率／無利子

農林漁業金融公庫資金

経営規模の拡大、資金整備の高度化による生産力の維持、増進を図るための融資です。

●償還期間／二十五年以内

●貸付限度額

●総合施設資金／
個人 二千四百万円～七千二百万円
法人 八千二百万円～二億四千万円
農地等取得資金／
四百万円～千二百万円

●貸付利率(年利)
総合施設資金／四・四五パーセント
農地等取得資金／三・五パーセント

農業振興資金


前記三つの制度資金の施設や運転資金への融資です。

●償還期間／五～十年

●貸付限度額／
百二十万円～一千万円

●貸付利率(年利)／
三・六～四・六パーセント

主な農業制度資金



東端の町朝日町。暖温帯林の生い茂る
宮崎鹿島樹叢を抜け、「朝日ふるさと歩道」を行く。
小1時間で頂上の城山・宮崎城跡に着く。
海岸線は、はるかに続き、富山湾は能登半島に包まれている。
水をたっぷり含んだ富山平野は
夕陽が沈むにつれて透明になっていく。
やかに静かな夜が訪れると、幾可学模様の水鏡が浮かび上がる。

城山から朝日町を望む

Pin Up TOYAMA

生涯



今日の社会は、高齢化・情報化・国際化など急激な変化の最中にあります。こうした変化に対処し、新しい社会に

適応していくにはそれにふさわしい知識や技能が必要であり、学校を卒業してからもそれぞれのライフサイクルにあわせて生涯学習が重視されつつあります。

県でも、県民大学校事業を中心に学習機会を整備し、生涯学習への取り組みを進めています。



学ぶ意欲は一生涯。
この夏の学習プラン

学習

講座名	会場	開催日	講師	内容	
県民大学校 夏季講座	富山会場 富山県教育文化会館 〈時間〉 午後6:00~7:30	7月17日(金)	富山和子 (評論家)	水と緑と土	
		19日(日)	飯田経夫 (経済学者)	これからの日本経済	
		20日(月)	香山健一 (評論家)	和と多様性	
		21日(火)	金子兜太 (俳人)	芭蕉の旅 一茶の旅	
		22日(水)	高坂正堯 (政治学者)	変動期の世界	
	高岡会場 高岡文化ホール 〈時間〉 午後6:00~7:30	7月25日(土)	上山春平 (哲学者)	日本の文明	
		26日(日)	村松 剛 (文芸評論家)	日本文化の未来	
		27日(月)	紀野一義 (宗教学者)	歴史と人世-男の美学・女の美学-	
		29日(水)	藤原てい (作家)	生きる-私の歩んだ道-	
		30日(木)	広岡達郎 (野球解説者)	私の野球人生	
県民大学校 暁天講座	富山県民会館 304号室 〈時間〉 午前6:30~8:00	7月6日(月)	小野蓮明 (宗教学者)	いのちの願い	
		7日(火)	上月照宗 (永平寺副監院)	生きる喜び	
		8日(水)	六浦恵村 (富山工業高専教授)	帰るところ依るところ	
		9日(木)	西能正一郎 (医師)	生きがい	
		10日(金)	舘 熙道 (富大名誉教授)	娑婆を生きることが生命の運命である	
		11日(土)	柳田友道 (富大前学長)	寿命を考える	
創造性開発講座	富山県教育文化会館 〈時間〉 午後6:00~7:30	8月24日(月)	片方善治 (システム研究センター 理事長)	アイデアの誘発とその実践 -Z K法による発想-	
		25日(火)	西脇 隆 (野村総合研究所 主任コンサルタント)	創造的人間はいかに育つか	
		26日(水)	大鹿 譲 (大阪工業大学教授)	遊びの精神	
		27日(木)	林雄二郎 (日本未来学会会長)	情報と創造性	
富山県 婦人大学校	富山県市町村会館	7月10日(金)	午前10時~	矢野裕子 (元国連事務局 専門職員)	女性と国際社会
			午後1時~	矢口光子 (物産生活総合研究センター 専務理事)	女性と社会参加
		11日(土)	午前10時~	帯 正子 (作家)	女性の生き方
			午後1時~	江上節子 (『とらばーゆ』 編集長)	女性と労働(雇用)
		17日(金)	午前10時~	浅生幸子 (女性史研究家)	女性史
			午後1時~	渥美雅子 (弁護士)	女性と法律
		18日(土)	午前10時~	牛丸文子 (保育専門学院講師)	女性と福祉
			午後1時~	梁瀬一味 (高岡女子高校教頭)	女性と教育
		25日(土)	午前10時~	菅原真理子 (内閣総理大臣 官房参事官)	女性問題総論
			午後1時~	意見交換会	

問い合わせ先

県民大学校、創造性開発講座については、生涯学習センター (☎0764・41・6135)
婦人大学校については、県庁婦人青少年課



“有峰ふるさと自然公園”

緑豊かな秘境「有峰」の
大自然の中で憩いのひとときを
過ごしてみませんか。

有峰ふるさと自然公園は、
たおやかな秀峰薬師岳のふもと、
ブナ、シラカバ等の美しい森と
青くすみきった有峰湖を擁する
大自然の中にあります。
さわやかな新緑の春、
緑濃い夏、
深紅に萌えあがる紅葉の秋と
四季折々のよそおいを変えながら
みなさんのお越しをお待ちしています。

＜主な施設＞

- 多目的広場 野外ステージのある芝生広場で、
各種球技や集会、ミニコンサート等に利用できます。
- 溪流広場 溪流のせせらぎを聞きながら語ったり、
子供たちの水遊び場として利用できます。
- テニスコート 全天候型のコートが五面あります。
冷涼な高原で快適なテニスを楽しめます。
また、用具の貸し出しも行っています。
- 自然探勝路 園内には、猪根山探勝路、砥谷半島探勝路
自然探検歩道の3路線が整備され、
それぞれ植物や野鳥の観察コースとして
楽しく利用できます。

＜利用案内＞

- 有峰ビジターセンター 有峰のすばらしい自然や歴史を
ビデオ映画・パノラマ・パネルで紹介します。
- 利用期間 6月1日から11月12日まで
- 利用時間 午前9時から午後4時30分まで
 - 有料施設(テニスコート)
 - 一般 1面につき1時間 300円
 - 学生以下 1面につき1時間 200円
- 問い合わせ先 有峰ビジターセンター
TEL 0764(81)1758

民生委員制度が 70周年を迎えます。



■民生委員(児童委員)の相談、指導状況

家族関係	8,030	生活費	7,344
住居	4,837	年金・保険	7,451
健康	43,180	生活環境	8,563
仕事	5,342	その他	71,135
事故・災害	1,304	計(件)	157,186

(昭和60年度)

制度当初の日常活動に
使用されたちようちん



● 民生委員(児童委員)を
ご存知ですか

日頃の暮らしの中で色々な問題が生じたとき、気軽に相談できる人がいるのは心強いものです。
気軽にあなたの悩みや訴えを聞き、福祉施設や福祉サービス等を提供してくれるところを紹介するなど、よき相談役・世話役となるのが民生委員(児童委員)です。
現在、富山県内には、二千八十名の民生委員(児童委員)が、それぞれの地域でみなさんの福祉の向上をめざして活動しています。

● 民生委員制度の
あゆみ

民生委員制度は、大正六年にその前身である済世顧問制度が岡山県で産声をあげ、その後、方面委員制度という名称で親しまれてきました。
昭和二十一年に現在の制度に変わり、以来、民生の安定と住民福祉の向上に努め、今年でちようど七十年になります。

● 期待される福祉社会の
実現に向けて

二十一世紀を目前にして人口の高齢化や核家族化が進むなか、住民の福祉に対する期待はますます強まっています。
このような状況のもと、すべての人々が幸せを享受しながら、家族や地域社会のなかでいきいきと美しく長生きして暮らすことのできる福祉社会を実現していかなければなりません。
そのためには、地域福祉・在宅福祉の先導役として民生委員(児童委員)の活動がますます期待されることは勿論ですが、最も重要なのは、果民一人ひとりが地域社会の幸せを自らの手でつくりあげようとする事です。
あなたの地域福祉活動への参加を期待します。

食中毒からエイズまで 衛生研究最前線

富山県衛生研究所

衛生研究所



小杉町中太閤山、県民公園太閤山ランド正面入口に通じる道路沿いに、富山県衛生研究所があります。

「研究所」と言えば、難かしくて何もわからないのでは？と緊張して扉を開けた私でしたが、案内してくださった次長の児玉さんに優しくとてもわかりやすく説明していただきうちに、なんだかワクワクしてきました。

県内に生まれた赤ちゃん全員を検査

まず最初は病理部。県内出生児はみんなここで先天性代謝異常検査を受けています。早期発見と治療によって、先天異常児の発現を未然に防いでいるわけです。その他、疾病の予防に役立つための血液、染色体検査、そして人体に悪影響を及ぼすハエ、ゴキブリ、ネズミなどを飼育し、調査しています。

次はウイルス部。ここでは、インフルエンザ、日本脳炎、小児マヒ、風疹、はしか、そして今世界中を恐怖の渦に巻き込んでいるエイズなどウイルスによる病気の検査と調査研究を行っています。

三番目にきたのは環境保健部。公害に係わる疾病の生化学的検査、調査研究のひとつとしてイタイイタイ病患者の追跡調査が非常に厳密に調べられています。イタイイタイ病といえは骨の病気のようには思われがちですが、カドミウムは腎臓障害をもたらしそうです。そこで、同じ腎臓障害による透析患者と比較しながら研究が行われています。



生物の存在が富山の川は美しいんです

化学部にきました。ここでは食品や食品添加物の安全性の試験研究、食品容器、包装、家庭用品等の有害物質の調査研究、

上下水道の水質調査、温泉の分析などを行っています。ここでは一般から依頼されれば飲料水の検査もしています。

最後は細菌部です。ここは名前の通り細菌による感染症や食中毒、食品、飲料水、河川などの検査が行われています。細菌による病気には赤痢、腸チフス、破傷風などがあります。ここではちよつとおもしろい実験を見ました。県内のいろいろな川の水を採集してきてその中に住む生物から川の汚れ具合を調べているのです。ん？松川の水にはヒルがたくさん動いています。「ヒルが住みつく所の川は非常に汚れているんです。しかし県内の川は他県よりもずっと美しいんですよ。また一つ賢くなれたみたいです。

7・8月は「ブリーチ君(?)」に注意

さて、もう一つこれからの季節に多い食中毒。七月、八月、九月は特に要注意です。食中毒の原因となる細菌にはいろいろありますが、全体の約半分は腸炎ビブリオ菌によるものです。予防調理方法は①清潔(特にまな板!!)②迅速③なるべく加熱又は冷却することなどだそうです。

衛生研究所といってもピンとこなくて不安だった私ですが、本当は県民の生活に密着していても重要な役割を果たしている事に気がつくきました。

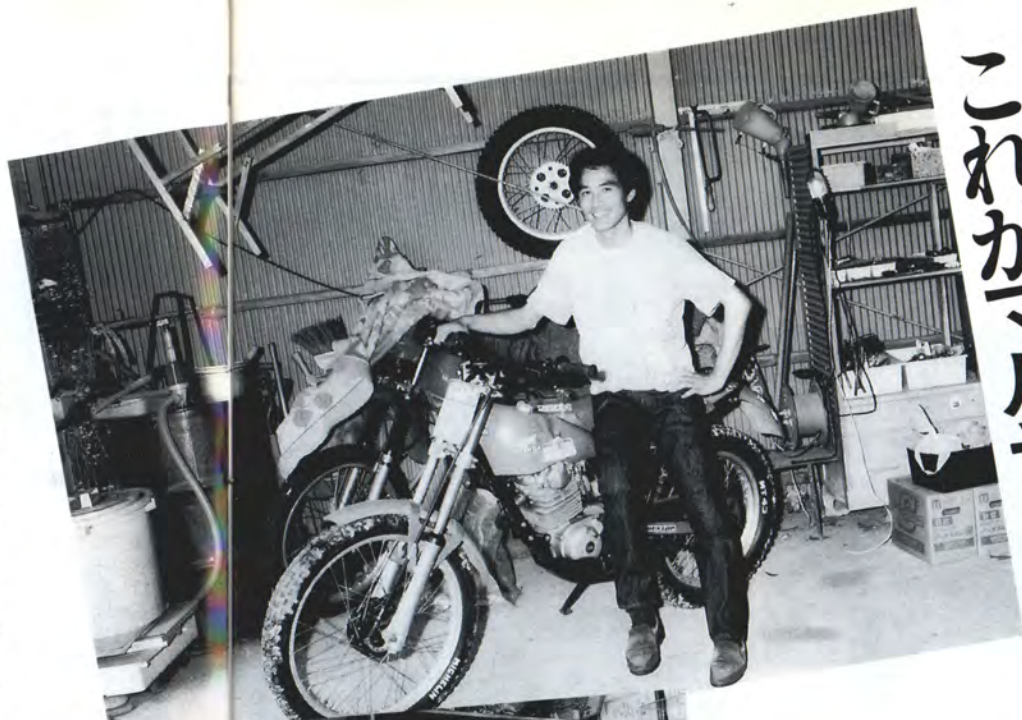
これからは、梅雨の季節です。みなさんも食中毒には、くれぐれも注意しましょう。

レポーター 高橋美穂

高岡市

これがマルチ人間だ。

シエア九十パーセントを誇る銅器の街高岡で、気持ちは少年銅器屋、駒沢義則さんに会った。



銅器屋とは言うものの、この人、レーシングスポーツ・ライダー、イラストレーター、クリエイター、カメラマン、郷土史家……etc どれも本職なのかわからないくらい何でもプロ並みにこなしてしまう。

オートバイは、鈴鹿サーキットでトライアル競技をしていたという腕前。レーシングシヨップを営むつもりでいたのに、レース中の事故であえなく断念。故郷高岡へ戻り、ライダーから銅器屋へと不思議な転身。一体どうして？

「銅器が好きやっただけというのはウソがね。高岡が一番誇りを持ってできる仕事は銅器やっただけのことかな。ヨソの産地にはいからブライドも持てるし。昔から物を作るには興味があつたよ。でも、本当は、朝寝坊やから、会社は勤まらんと思つて」とニヤリ。

二上山に村を作ろう

駒沢さんは、なんともう一つ、「高岡伝統青年会会長」という顔を持つている。この会長には、どっかい夢がある。「工藝村」を作ることだ。「製造品をやるには、大きな設備や工具、技術が必要だから、何か作りたいと思つても設備がなく困つとるクラフトマンが結構おるがね。山の中で制作に没頭したいと思つとる人もおるし、独立したくても経済的に無理な人もおる。そんな物づくりの連中が集える場、ここへ来れば銅

器、漆器だけでなく、木工、ガラス、焼物等、クラフトなら何でも寝泊まりして作れるという村が欲しい。もちろん、旅行ギヤルがちよつと寄つてみやげを作つていってほしいし、銅器作りの林間学校として利用してもいい。場所は、自然がいっぱいの静かな所、二上山の海の見える辺りがいい。

「今年はまだ、ムード作りの段階やけど、仲間が多いから、一生懸命やれば何とかなるんじゃないかな。優しい瞳が、少年のようにキラキラ輝いた。一石二鳥の工芸村、この人なら本当に実現してしまうだろう。」

あまーい匂いが体のすみずみまで浸透し、クラクラときそう。納屋は漬物タルで足の踏み場もないくらいだ。

ここ、駒方では、四年前から粕漬を作つてい

る。名づけて

「駒方漬」手が

けているのは、

吉田幸雄・クミ

さん、吉田一男・サチ子

さん、金元勝頼・千代さ

ん、広地功七・節子さんの

仲良し四夫婦だ。なす、に

んじん、きゅうり、うりな

どの野菜を、四軒合わせて五十アルの畑で作

つている。生野菜では、値段が不安定だからと、

農業改良普及所の指導で作られた駒方漬は大評

判。「初めの五十八年は一トン、作つたんやけど、

飛ぶように売れて。五十九年は倍の二トン、六

十年は

は五、

雄さん。

「荒漬用

う、砂糖

おいしい水

と金元勝頼

さん。ここは湧水が豊富

な地域なのだ。

駒方漬は、ほのかに

甘く、かつて家々で作

つていたような素朴

な味がする。特にに

んじんは美味。面白

いのは、印籠漬」



駒方漬

駒方漬はふるさとの味。

で、ウリを切ると、中からにんじんの子、フキ、



高岡市の概要

面積 151.05平方キロメートル
人口 175,851人 (4月1日現在)

古くから、県西部の政治、文化、経済の中心地で、金屋町を中心に、銅器・漆器などの伝統産業が300年以上も続き、日本のトップクラスの座を占めている。月と紅葉の名所、二上山や、絶好の海水浴場、雨晴海岸はぜひ訪れてみたい。また、日本海側随一の規模を誇る七夕祭は見物だ。



■4月18日

自動車税センター竣工式

いきいき富山チューリップナイター

■4月22日

苗木街頭配

布



■4月23日

知事のましまわり・語るつどい

■4月24日

花総合センター竣工式

日展富山展（～5月10日）



■4月27日

青少年保護育成審議会

富山県空港スポーツ緑地開園式



■5月6日

昭和六十二年「とやま賞」贈呈式

■5月7日

樺平ビクターセンター竣工式

■5月8日

デビスカップ東洋ゾーン二回戦

（～5月10日）

富山県植樹

祭（小杉流

通業務団地）



■5月9日

第三回全国テクノポリスシンポジウム

■5月11日

交通特別点検

■5月13日

総合雪対策推進会議

■5月14日

第一回富山県・遼寧省友好交流促進会議（～5月15日）

第一回富山県・遼寧省友好交流促進会議（～5月15日）

住宅情報

【大畠山住宅団地の宅地分譲】

ゆとりあるマイホームづくりをお求めの方には最適です。

◆一区画平均面積／
三百三十平方メートル

◆公譲価格

四万七千五百円／平方メートル

◆問い合わせ先

大畠山団地建設事務所

（☎0766・56・0221）

【富山県特別住宅分譲制度】

富山県住宅供給公社で、雪に強い住宅仕様のもを購入する場合などに適用される制度で、住宅金融公庫の融資額が割増されるなどの特典があります。

【住みよい家づくり資金】

雪に強い家づくり、住みよい家づくりのお手伝いをする富山県住みよい家づくり資金の融資条件が改善され有利になりました。

◆融資限度額

新築 三百二十万円

改良・中古改良 二百万円

◆償還期間

新築 二十年以内

改良・中古購入 十年以内

◆融資利率

年五・二パーセント

【優良宅地取得資金】

県、または住宅供給公社が造成した住宅団地の宅地を購入される方への資金融資です。

◆融資限度額

二百五十万円

◆償還期間

二十年以内

◆融資利率

年五・二パーセント

【地域優良木造住宅の割増融資】

住宅金融公庫及び県の「住みよい家づくり資金」の融資を受け、耐雪型・断熱構造の木造住宅を建設する場合、住宅金融公庫から最高二百万円の割増融資が受けられます。

※住宅資金融資について詳しくは、富山県住宅供給公社（☎0764・32・5131）へお問い合わせください。

ご利用ください

【新湊共同福祉施設・完成】

中小企業に働く労働者のための施設です。研修室、集会場、卓球場などがあります。

◆場所／新湊市片口堀岡、富山新港企業

センター内（☎0766・86・3330）

ハートの
テレフォンカードが
できました。

富山県ボランティア活動のマスコットマーク「ハートイ」入りのカードでメッセージをとどけてみませんか。（セット八百円）

収益は、富山県ボランティア基金に積み立てられますのでご協力をお願いします。

◆申し込み先 富山県社会福祉協議会
（☎0764・32・2958）



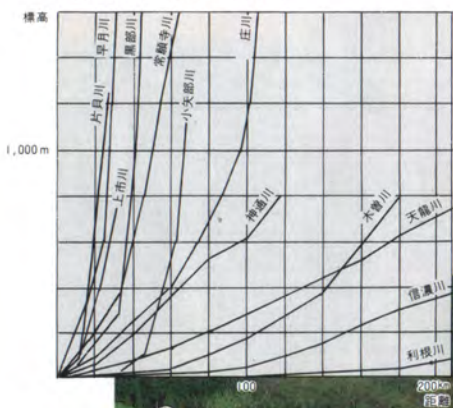
昭和62年 6月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
6	土	富山駅前 高岡駅前	10:00～16:00 10:00～15:30
7	月	黒部市メルシーショッピングセンター前	10:00～15:30
8	火	砺波市役所前	10:00～15:30
11	木	立山町役場前	10:00～15:30
13	土	富山駅前 高岡駅前	10:00～16:00 10:00～15:30
14	日	富山西武前	10:00～16:00
15	月	福光町福祉会館前	10:00～15:30
20	土	富山駅前 高岡駅前	10:00～16:00 10:00～15:30
21	日	富山県運転教育センター	9:30～15:45
23	火	福野町役場前	10:00～15:30
24	水	八尾町役場前 八尾町商工会前	10:00～12:00 13:00～15:30
25	木	福岡町役場前	10:00～15:30
27	土	富山駅前 高岡駅前	10:00～16:00 10:00～15:30
28	日	高岡駅前	10:00～15:30

TOYAMA GUINNESS SPOT 2

急流河川日本一

河川縦断勾配の比較図



急峻な山岳地帯から流れ落ちる富山県の河川は、全国にもまれにみる急流河川で、時として、土石流や洪水などの水害をもたらしてきました。

しかし一方で、私たちの先人は、こうした暴れ川の強大なエネルギーを水力発電や扇状地での水田かんがいなどに積極的に利用して、富山県の産業に大きく貢献させてきました。

また、急流河川は、途中で汚染される時間が少なく、また酸素による新陳代謝が激しいことから富山県の「おいしい水」の秘密の一つともなっています。

片貝川

可多加比かたがひの川の瀬清く
行く水の
絶ゆることなく
あり通ひ見む
大伴 家持

駒ヶ岳、僧ヶ岳などの溪流を源とする片貝川は延長二〇・四キロメートル。河床勾配日本一の急流河川として知られています。



県政バス教室 8月は親子バス

① 8月分(親子バス)申し込み受付期間
6月25日～7月6日

② 応募方法

往復はがきで申し込みください。

□	(住所) (氏名) 殿	・団体名 ・代表者 ・参加人数 ・コース及び運行日 第1希望 第2希望	(人数)
---	-------------------	--	------

(団体)

□	(住所) (氏名) 殿	・氏名 ・住所・TEL ・コース及び運行日 第1希望 第2希望	(人数)
---	-------------------	---	------

(個人・グループ)

※富山地区の方は県庁内にある県民相談室、その他の地区の方は各地方相談室までお申し込み下さい。

相談窓口のごあんない

県政については

- ・県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111代
31-3131(県民電話)
- ・高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411
- ・魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311
- ・砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151

消費生活については

- ・消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
☎(0764)32-9233
- ・消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

暴力・サラ金などについては

- ・困りごと相談所
警察本部防犯少年課
☎(0764)33-8080
 - ・覚せい剤・サラ金相談
警察本部生活保安課
☎(0764)41-8904
 - ・暴力団ゼロ110番
警察本部捜査第二課
☎(0764)42-0110
- このほか各警察署でも受け付けています。

見てください・聞いてください

N NEWS-PAPER
新聞広報

R RADIO
ラジオ広報

TV テレビ広報

新聞広報

- ・北日本、富山、読売、北陸中日
毎週第2土曜日
「県からのお知らせ」
- ・朝日、毎日
毎月最終土曜日
「みんなの県政」
- ・朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

テレビ広報

- ・北日本放送
毎週日曜日 AM8:00~8:30
「こんにちが富山県です」
- ・富山テレビ放送
毎週日曜日 AM9:00~9:30
「110万人のひろば
—クイズ/フォーカス・イン—」

ラジオ広報

- ・FMとやま
「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題を
クリアなサウンドでおとどけ
します
毎週月～金曜日 AM9:30~9:35

編集後記

★ヘルスプランの取材でおじやました魚津市の油本さん。いやはやその元気なこと、とても八十四歳とは思えない。

写真撮影のため、蜚気楼ロードを十分間ほど走ってもらったのだが、背筋をピンと伸ばした見事なフォームで息一つ乱さない。

カメラを持って追いかけてもついていけずに「油本さん待つて下さい。」と叫んでしまった自分が情けない。日頃の運動不足を痛感してしまった。

それにしても油本さん、スノーピーのTシャツなかなか似合っていましたよ……。



県政広報映画

16ミリカラーフィルム 28分30秒

セミドキュメンタリー

砺波平野に点々と広がる散居村の屋敷林を地元では、“カイニョウ”と呼んでいる。カイニョウは、風雪を防ぎ、暑い日差しをさえぎって散居村に住む人たちの暮らしを守りつづけている。

このカイニョウも、生活様式、建築様式等の変化によって、年々少しずつその姿を消しつつある。

この映画は、砺波市堀内の芳里三正さん宅のカイニョウにスポットをあて、四季折々のたずまいを捉え、カイニョウの防除作業や枝打ち、カイニョウに実る果物の収穫、カイニョウに棲む生きものの様子を紹介し、私たちにとって緑をつくり、育て、親しむとは何かを考えながら、すべての県民が、21世紀に向けて花と緑の日本一のふるさとづくりに挑戦することを呼びかける。

●ナレーター/下條アトム



●広く皆さんに貸出します
ご希望の方は広報課まで。

かゝるに かゝるに かゝるに

— 砺波散居村の四季 —